相中の愉快な仲間たち　～子どもたちも大人たちもワクワクする毎日を～

相原中学校だより

第８号
R1. 12. 2

真心(まごころ)を伝える

校長　江戸谷　智章

以下の文章は、私たちにはとてもなじみ深いある日本の文化について説明したものです。さて、その文化とはいったい何なのかを考えてみてください。

『この文化はそもそも「時宜（じぎ）」（物事を行うのにちょうどよい時機）という意味がありましたが、その意味合いが少しずつ薄れ、「物事が成立するのにちょうどよい状況・事態」という意味をもつようになり、さらに江戸時代後期には、「ある状況に対する考え方や気持ち、状況を見きわめて対処する」という捉え方から、「あいさつ」を表すようになりました。その後、この言葉はあいさつをする時の動作そのものをいうようになり、表記もいつしか現在使われている形になりました。』

少々難解な説明文ですがいかがでしたでしょうか。実はここで説明されている日本の文化というのは、私たちが日常行っている「お辞儀」のことで、上記は、「お辞儀」についての語源・由来を説明したものです。

さて、いまだ皆さんの記憶に新しいことと思いますが、ラグビーワールドカップ日本大会では、ニュージーランド代表が発端となって、多くの参加国の選手たちがホスト国である日本に対して、感謝と敬意を日本文化である「お辞儀」をもって表現してくれました。海外の報道においても、各国のチームが行ったお辞儀について注目していて、ある新聞には、「日本の人々から受けた愛を少しでも返したい。そして日本人と可能な限り緊密につながりたいという思いをチームとして示す必要があった」と、ニュージーランド代表選手による感動のコメントが掲載されていました。

ところで、この「お辞儀」ですが、皆さんはこの礼法についてどれくらいご存じでしょうか。立ってする「立礼」だけでも礼の深さによって「会釈」「敬礼」「最敬礼」と３種類があり、座ってする「座礼」にいたっては、小笠原流では「九品礼（くほんれい）」といって９種類もあるとのことです。

また、礼をする時は、女性であっても両手を体の前で重ねるのは、実は不適切な作法であるとか、言葉をそえてあいさつする場合は、「語先後礼」といって先に言葉を述べてから頭を下げるなど、私自身わかっているようで実は身についていない作法がいくつもあり、知れば知るほど恥ずかしい思いになりました。

話はかわって、今回の生徒会役員選挙で行われた立会演説会の中でも、多くの立候補者の生徒たちが、あいさつの大切さについて述べていました。お辞儀にしても言葉で交わすあいさつにしても共通して言えることは、どちらも互いの存在を認め合い、人として尊重し合っていることが基本になくてはならないように思います。ある意味、あいさつやお辞儀は、互いをより理解し合うための入口であって、その後の関係を左右するくらいの大事な出発点なのだと思います。

たとえ言葉を交わさなくとも、互いにお辞儀をするだけで「いつもありがとう」、「お世話になっています」等の思いが通じ合えたりします。私たちは絶えず誰かを支えそして支えられながらでないと生きてはいけないことを知っています。しかしとかく心に余裕がないと、相手への敬意や感謝、さらにはお互い様といった思いすらも失われ、お辞儀どころかあいさつの言葉すら交わせなくなっている自分があったりします。今回のラグビーワールドカップで、あらためて外国の人々から、人の心は目には見えにくいものだけれど「お辞儀・あいさつ」といった振る舞いを通して、周囲に真心を伝えることができること、そしてこの日本文化の素晴らしさや大切さについても再認識させてもらったように思います。

新旧生徒会長あいさつ

前生徒会長　高木　茉奈さん

２年生から３年生へ、一つのバトンが受け渡されました。約２年もの間支えてくださった先生方、本部役員の皆さん、協力してくれた学校の皆さん、本当にありがとうございました。皆さんの支えがあったからこそ、最後まで務めを果たせたのだと思います。

生徒会の活動を振り返ると、「大変だった、でも楽しかった」、「やって良かった」という思いと、沢山のよい思い出をつくることができました。上手くいかないことばかりで悩んだ時もありましたが、でも、私一人ではできなかったことでも、皆さんがいてくれたからこそ諦めずに取り組むことができました。私は本当に素敵なメンバーに恵まれていたなと思います。

私は今、生徒会本部に入って良かったと思っています。でも少し考えてしまうことがあります。「相原中学校に、何を残せたのだろう。」と。恥ずかしながら自分ではわかりません。しかし会長になって学んだことがあります。会長という立場は、様々な人の考え方を聞くことが多いです。そうなると、自分の考えと真逆な意見だったり、自分の考えを受け入れてもらえなかったりすることもあります。けれどそれは仕方のないことです。でもそこで落ち込んでばかりいないで前向きに捉えることが大切なんだと学びました。相手の考えを認めつつ、自分の考えをしっかりと持ってさえいれば、向上心がある人ならば、自分自身のレベルもきっと上がっていくのではないかと思います。今後おとずれるかもしれない困難から逃げずに、「自分」をしっかりもって諦めず、「自分」を信じ続けてほしいと思います。

新生徒会長　引野　絢太さん

僕は昨年も生徒会本部書記として関わらせていただきました。そこで、学校をつくっていく上での基盤となる代表議会の審議内容について、テレビ放送したり相中新聞を制作したりして、昨年の生徒会の課題であった発信力の弱さを改善してきました。このことから今の相原中学校の課題に直面したときには、昨年の先輩方のように、様々な工夫をして課題を改善していきたいと思っています。その際、全てを一からは始めるのではなく、相原中学校としての良いところを失うことなく取り組んでいきたいと思います。

そこで、相原中学校の良いところについて考えたとき、僕はやはりあいさつができるということがあると思います。しかしながら、全校生徒がしっかりとあいさつができているのかというと、まだ足りないところもあるように思います。僕はもっとあいさつが日常的に交わされるようにすることはもちろんのこと、他の良いところも伸ばしていきたいです。僕は一部の人だけで相原中をつくっていけるとは思ってはいません。この学校をつくっていくのは僕たち生徒です。よりよい相原中学校にするためにも生徒一人ひとりの意見を大事にしていきます。これから１年間全力で頑張っていくので、どうぞよろしくお願いします。

12 月・１月の主な日程

12 月

２日（月）諸活動なし
４日（水）美化週間（～20 日）
　　生徒会専門委員会
６日（金）１年生福祉体験　生徒会代表議会
７日（土）さがみはら生徒会長会議（旭中）
　　ＰＴＡ運営委員会

９日（月）諸活動なし
１３日（金）あいはら級校外学習
１６日（月）１・２・３学年三者面談（～17 日）
　　１・２学年三者面談（～19 日）
２０日（金）諸活動なし
２３日（月）各学年集会　諸活動なし
２４日（火）２学期終業式
２５日（水）冬期休業（～）

1 月

１日（水）令和２年元旦
８日（水）３学期始業式　諸活動なし
９日（木）最終下校 17：00
１０日（金）生徒会専門委員会
１１日（土）ＰＴＡ運営委員会
１３日（月）成人の日
１５日（水）学級プログラム委員
２０日（月）諸活動なし

２１日（火）学校保健委員会　議長講習会
２４日（金）新入生保護者説明会 15：00～
２７日（月）諸活動なし
２８日（火）公立高校共通選抜募集期間～30 日
２９日（水）生徒会専門委員会
３１日（金）生徒会代表議会